



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



1 学期も後 2 週間。第 3 回安全な登下校 PROJECT 実施中！

— Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) —

今週の始め、台風が過ぎ去りました。大きな影響もなく一安心でした。「災害は忘れた頃にやってくる」と言います。「準備はきちんとしていたけれど何も無くてよかった！」これが一番、嬉しいことだと思います。平素から準備を、備えを怠らないことを肝に銘じたいと思います。今後も緊急事態は起こる可能性はあります。そのような時も安全・安心を第1に備えを確かに、心の準備をしておきたいものです。

さて、1 学期、学校に来るのも残すところ後 8 日となってきました。月日が経つのは本当に早いものです。「1 学期が始まりました」「半分を過ぎました」と言っていたかと思うと、もうそのような時期となりました。昨日より、「第 3 回安全な登下校プロジェクト」が始まりました。このプロジェクトは、児童の安全な登下校を確かなものにする為のものです。登下校における課題・問題は多くあります。集団登下校の難しさは、何も今に始まった訳ではありません。順番が守れない、上手く並べない、歩くのが遅い、勝手な行動をする、出発時刻が守れない等、集団であるからこそ生まれる課題・問題があります。集団登校は、私が小学生の頃から実施されてきました。私もその経験があります。かなり昔から変わらない風景だと思います。ただ、集団下校については、私がこの仕事に就いて暫くしてから実施されたものです。きっかけは下校時に、児童にとって安全でない状況が起こったからでした。それ以後、変わることなく続いています。ですから、保護者の方の中には、ご自身の登下校について既に集団下校であった方が多いのではないかと、つまり、集団登下校が当たり前であった方が多いのではないかと想像されます。ただ、小野市以外のところでは、集団下校

ではないところ、集団登校でないところもあります。地域によって違いがあります。当然、通学する子供達の人数、地域の交通事情、生活環境状況等が違いますのでそのようなことになるのだと思います。しかし、どのような状況であれ、**子供達の登下校における安全・安心の確保は重要なことです。**学校としても交通立番を実施しております。また、日々、地域の方々のご支援を賜っておりますこと誠に感謝しております。そのような中で、何より「**子供達が自ら安全に行動できること、そして、自分達の安全・安心を確保する為の集団登下校であることの自覚と認識を持ち行動できること**」が重要だと考えています。このプロジェクトの意味・値打ちは、そこにあると思っています。プロジェクト初日の朝、展示ホール前の記録表を確認しました。**全ての登校班がきちんと評価を記入していました。**大変、嬉しかったですね。そして、登校班長達の真面目さ、誠実さを感じるとともに頼もしさを思いました。このプロジェクトも始めて 3 年目に入りました。着実に、確実に、子供達の意識も高まっていることを嬉しく思います。**今回の目標は、全ての登校班が達成することです。**第 1 回、第 2 回では、全ての登校班が達成とは残念ながらなってはおりません。**全員が NSRPO 賞 (Nakabashi School Roads Patrol Officer) を手にして欲しいと願っています。**期間は来週の 7 月 13 日 (水)迄となっています。子供達、一人一人の自覚と責任、そして行動が、素晴らしい結果に繋がることを楽しみにしています。登校班長だけでは決してできない、班員一人一人の協力が合ってこそ達成できるものです。それこそ、全登校班の達成は、全校生の自覚と責任、その行動が鍵となります。ご家庭でもご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、増加傾向の報道がされております。熱中症の心配もあり、対応に苦慮する面もありますが、日常の感染対策（手洗い、消毒、換気等）を徹底することが重要であると考えます。保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。